

独自技術生かす好機

景気回復への歩調が強まる中で、攻めのグリーンITに焦点が当たっている。ポイントはIT活用による社会全体の省エネルギー化(グリーンIT)で、コスト削減と省エネルギーと二酸化炭素(CO₂)削減があらためてクローズアップされている。一方、欧米から押し寄せてきたグリーンITの波は、日本のお家芸である省エネルギー技術と相まって進展し、日本発でアジアへと広がりをみせている。

世界で連携広がる

アジア地域の経済発展とそれに伴うエネルギー消費の増大を背景に、アジアでもグリーンITの推進が急展開している。直近では2010年10月に「第2回アジアグリーンITフォーラム」が開かれた。中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナムの10の国と地域の政府と産業界関係者が参加。グリーンITの取り組みはもとより環境・エネルギー・施策との融合など、各国・地域の事情を踏まえた活発な意見交換が行われた。

アジア10カ国が共同声明

エネ効率の最適化探る

例えば消費電力量の削減対策が求められるDCの場合、エネルギー効率を計測するための指標に

評価方法の統一化

グリーンITの貢献度をどう評価するか。国を挙げてグリーンITを推進するために、省エネルギー機器やサービスの積極的な市場投入に企業界の努力が正に評価され、かつ国際的にも連携させた枠組みでなくてはならないから

環境貢献の指標定義

DCの省電力化目標に

術ロードマップの提供などの活動を展開する世界的な組織「グリーンITの流れを先導している。グリーングリッドはDCで消費されるIT機器のエネルギー量を測定する指標として、電力使用効率性(PUE)を世界共通の尺度として提唱しており、仕様策定ではグリーンIT推進協議会やJDDCCとも共同歩調をとっている。

日本企業の戦略

規模・業種で温度差

「エコ」対応戦略は必須

「エコ」対応戦略は必須。規模・業種で温度差。日本企業の戦略。業種別では「機械製造」や「重要インフラ」などが先導していること。それでは日本企業はグリーンITにどう向き合っているか。日本情報システム・ユーザ協会(JUAS)がまとめた「企業IT動向調査2010」によると、「グリーンITの対応・検討に着手している」企業は全体の約2割にとどまること



グリーンITにはDCの省電力化が必要(上)日立製作所のデータセンター内(富士通の館林データセンター冷却設備)

PUEはDCの全消費エネルギーをIT機器の消費エネルギーで割ったもので、PUE値が1に限りなく近いほど、エネルギー効率が高いことを示す。

10年2月には日欧米によるDCエネルギー効率評価手法などに関する会議(ハーモナイゼーション会議)が米国で開かれ、DCのエネルギー効率指標のガイドラインについて合意した。



芋100%

良質な芋麴が実現した、芋本来の甘い香りと、すつきりと上品な味わい。



一刻者

全量芋焼酎

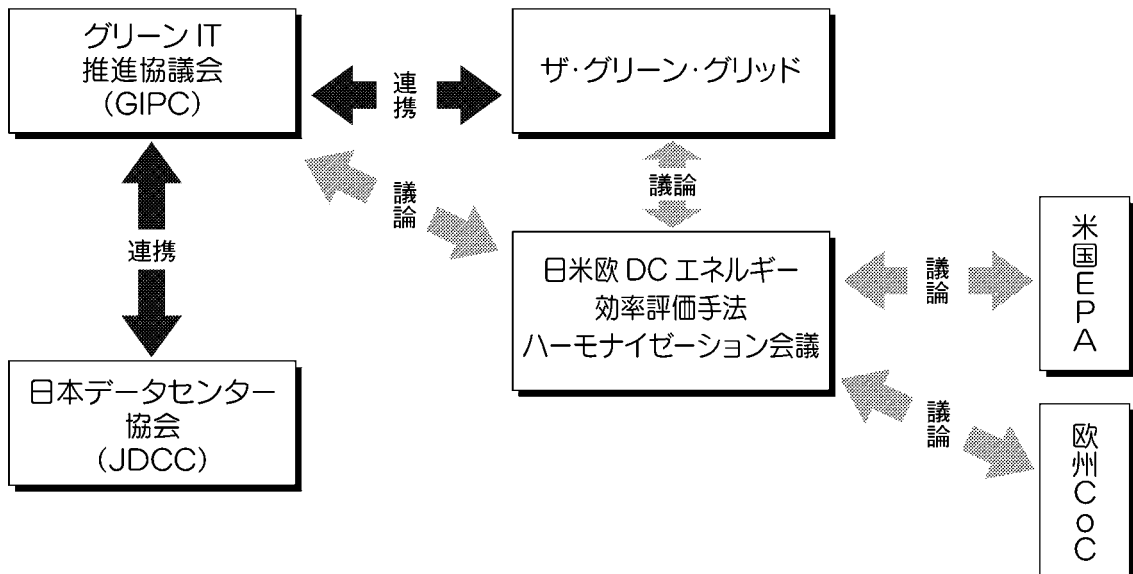
「一刻者」がこだわったのは、芋と芋麴だけでつくる、芋100%であること。芋焼酎の麴には「芋麴」を使うと思われがちですが、実はその多くが「米麴」なのです。米に比べ、芋はその硬さや水分量から麴菌が根付きにくく、うまく育成しないため、芋麴づくりは極めて難しいからです。「一刻者」は長年の研究により、独自製法の良質な芋麴を生み出しました。焼酎の味わいを決める麴の良質さにこだわったからこそ、一滴一滴に雑味がなく、芋本来の甘い香りとすつきりと上品な味わいが、口の中に広がります。「一刻者(いつこもん)」とは、南九州の話し言葉で「頑固者」のこと。芋本来のうまみに頑固なまでにこだわって、芋100%で丹念につくった本格焼酎。それが「全量芋焼酎」一刻者」です。

「一刻者」は、こだわり続ける頑固者を応援します。 ikkomon.jp

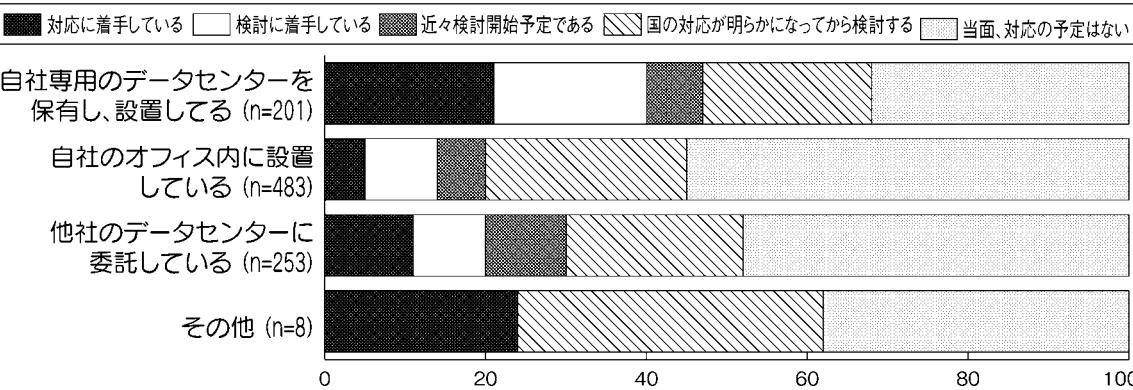
お酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。飲酒は適量を。のんだあとはリサイクル。

www.takarashuzo.co.jp 宝酒造株式会社

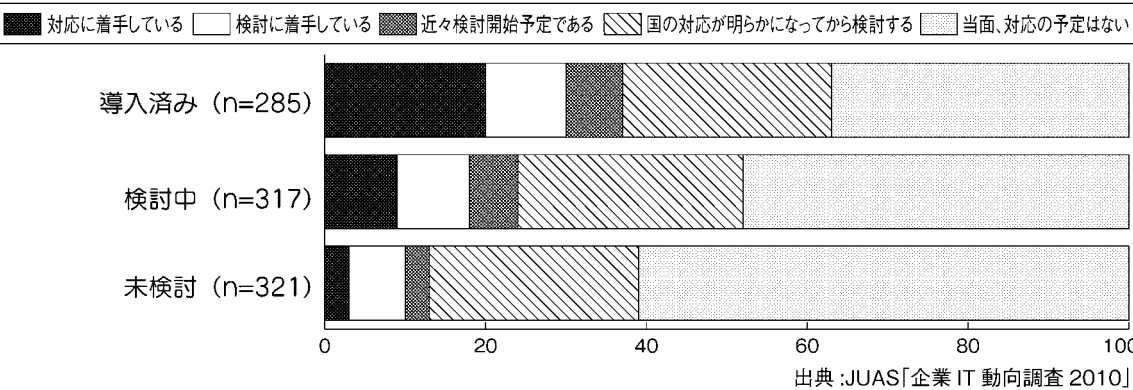
データセンターエネルギー効率評価手法の標準化の動向



サーバ設置場所(基幹系・現状)別グリーンIT対応状況



サーバ仮想化別グリーンIT対応状況



出典:JUAS「企業IT動向調査2010」

グリーンIT

調査か

kaneka

使ったあとは、自然に還る。カネカのバイオプラスチック。

カネカの「100%植物由来のバイオプラスチック」。再生可能資源である植物油脂などのバイオマス为主原料とする新しい生分解性素材です。この素材の大きな特徴は、これまでのポリ乳酸(PLA)などの同じ生分解性樹脂に比べ、優れた耐熱性などを持ち、フィルムや発泡体、繊維から射出成型品まで、より幅広い用途が期待できるという点にあります。また、使った後はより短期間で、水と炭酸ガスに分解されるという、優れた生分解性を誇ります。

ニュースのあるカガク。カネカ

